

施策17

魅力ある観光の振興

対象	市民, 来訪者
目的	市民がまちに愛着と誇りを持つ
意図	多くの来訪者が市内を回遊する

○ 施策の方向

地域資源の魅力の向上と積極的な活用により、市民がまちに愛着と誇りを持ち、多くの来訪者からも訪れたいと思われる、にぎわいのあるまちづくりを進めます。

○ 施策のポイント

- 「映画のまち調布」「深大寺」「水木マンガ」などの地域資源を活用した取組の推進
- ロケツーリズムによる地域活性化の推進
- ラグビーワールドカップ2019™日本大会や、東京2020大会を契機としたにぎわいの創出、インバウンド対策を含めた観光振興
- シェアサイクル導入などによる市民と来訪者の市内回遊性の向上促進
- 多様な主体と連携した観光事業や特色あるまちの魅力発信の取組の推進

基本的取組の体系

施策17 魅力ある観光の振興

基本計画事業

17-1 「映画のまち調布」の推進

★ 「映画のまち調布」の推進

p.156

17-2 地域資源を活用したにぎわいの創出

調布市観光協会事業の促進

p.157

17-3 多様な主体と連携した観光事業の推進

調布市観光協会事業の促進 [再掲]

p.158

★重点プロジェクト4

○ 現状と課題

- 調布市では、昭和8（1933）年に多摩川撮影所（現：角川大映スタジオ）が設立されて以来、映画・映像関連事業所の集積が進み、昭和30年代には「東洋のハリウッド」と称されるほど映画のまちとして発展を遂げました。現在でも多くの映画・映像関連企業が立地しており、映画やテレビドラマ等の撮影や制作が盛んに行われています。



角川大映スタジオの大魔神像

- 「映画のまち調布」の推進に向け、映画・映像関連企業とのより一層の連携を強化するとともに、積極的な口ケ支援を行うなど、地域の活性化を図っていく必要があります。



「映画のまち調布」日活100周年記念手形モニュメント

- 市内には、四季折々のイベントを開催している「都立神代植物公園」や、奈良時代に建立された関東屈指の古刹である「深大寺」があり、平成29（2017）年には「銅造釈迦如来倚像」（通称：白鳳仏）が国宝に指定され、東日本最古の、寺院伝来の仏像としては都内唯一の国宝仏となりました。また、深大寺周辺には「深大寺そば」の店舗が並び、都内でも代表的な観光スポットとなっています。



深大寺



銅造釈迦如来倚像「白鳳仏」

- 平成27（2015）年に御逝去された調布市名誉市民の水木しげる氏の功績を称え、御命日の11月30日を「ゲゲゲ忌」と命名し、水木しげる氏ゆかりの地を巡るイベントなどを開催しています。



ゲゲゲ忌の様子 ©水木プロ

- 調布市観光協会では、ツイッターやフェイスブックに加え、民間事業者が運営するホームページと連携した情報発信を行っています。また、調布駅前広場に設置している調布市観光案内所「ぬくもりステーション」では、観光案内等の拠点として活用することを目的に観光情報の発信や来訪者の案内などを行っています。引き続き、様々な媒体を活用し、まちの魅力を発信していく必要があります。
- 観光振興における自治体間連携として、JR中央線沿線の2市と連携したコミュニティサイクル事業や、京王線沿線5市での合同観光PR等に取り組んだほか、平成30（2018）年度からは、多摩西部地域を含む複数の自治体と連携する地域の魅力向上・発信事業を実施しています。また、ラグビーワールドカップ2019™日本大会及び東京2020大会に向けた連携として、府中市、三鷹市と連携したラグビーフェスティバルの開催など、近隣市と連携した機運醸成に取り組んでいます。そのほか、東京都市長会の附属協議会のオリンピック・パラリンピック連絡協議会等を通じて情報共有を図り、今後の連携方策の検討につなげています。

基本的取組の内容

17-1 「映画のまち調布」の推進

◆映画・映像をつくるまちの推進

市民・事業者等と連携・協力した調布ジュニア映画塾や子どもたちと映画寺子屋、高校生フィルムコンテスト、商店会CMの制作など、映画・映像関連企業が集積する特徴を生かし、映画・映像をつくるまちを推進します。

◆映画・映像を楽しむまちの推進

市と調布市文化・コミュニティ振興財団が共催する映画のまち調布シネマフェスティバルや調布シネサロンなどを開催するとともに、市民・団体等による映画・映像関連イベントの開催を支援します。

◆映画・映像で学ぶまちの推進

映画・映像関連資料の収集・保存・展示をはじめ、映画をテーマとした講座、講演会や平和をテーマにした映画上映会、子ども映画会など、映画・映像を通して学習する機会を提供するほか、映画・映像づくりやワークショップなど、「映画のまち調布」ならではの取組を進めます。

◆映画・映像関連企業と連携した地域活性化

映画イベントの開催や貴重な映画・映像資料の公開をはじめ、日活映画俳優の手形モニュメントの展示や映画のまち調布を巡るツアーの実施など、映画・映像関連企業と連携した、特色ある地域活性化の取組を推進します。

◆ロケツーリズムの推進

地域資源を活用したロケ支援に取り組むことにより、より効果的な地域の魅力の向上・発信を実現し、地域の活性化、観光客の増加につなげます。

◆「映画のまち調布」の効果的な情報発信

市及び調布市観光協会ホームページ内の「映画のまち調布」コンテンツの充実を図るとともに、映画・映像制作会社向けに、ロケ地を収録した専門誌やウェブサイトへ登録を行うなど、効果的な情報発信を行います。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
「映画のまち調布（映画・映像を“つくる・楽しむ・学ぶ”まち）」を進める取組に満足している市民の割合	69.0% （平成30（2018）年度）	75.0% （令和4（2022）年度）

基本計画事業

重点4

No.	56					
事業名	「映画のまち調布」の推進		区分	継続	担当課	産業振興課
事業の概要	市内映画・映像関連企業や市民団体との連携を図りながら、フィルムコミッション事業、各種映画関連イベントを実施するとともに、映画関連企業の映画・映像に関係する取組の情報発信を行い、「映画のまち調布」のPRに取り組みます。					
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度		
	○フィルムコミッション事業の推進 ○ロゴマークの活用、促進 ○映画関連イベントの実施 ○市内映画・映像関連企業との連携した地域活性化の取組 ○広域連携によるロケツーリズムの推進	○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続	○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続	○継続 ○継続 ○継続 ○継続 ○継続		
事業費 (百万円)	14	14	14	14		

◆古刹・深大寺を核とする魅力の発信

深大寺だるま市や深大寺そばまつり・深大寺夕涼みの会など、古刹・深大寺を核とするイベントや、バラフェスタなど神代植物公園主催の各種イベントの開催を支援するとともに、調布市観光ボランティアガイドを支援し、深大寺地域の魅力を発信します。また、景観に配慮した観光地にふさわしい街なみの形成や深大寺周辺の環境の整備を推進します。

◆「水木マンガの生まれた街 調布」の推進

調布市名誉市民・水木しげる氏の御功績を称え、御命日である11月30日を中心に実施する「ゲゲゲ忌」をはじめとした「水木マンガの生まれた街 調布」としての事業を推進します。

また、御生誕100周年（令和4（2022）年）の節目を見据え、妖怪を中心とした独特の世界観を表した漫画や画集などの作品をはじめ、自らの戦争体験に基づく数々の著作、文献などの御功績をまちづくりにも生かしつつ後世に伝えていく方策を多角的に検討し、更なるまちの魅力向上につなげていきます。

◆芸術・文化等を通じた魅力の発信

グリーンホールや文化会館たづくり、せんがわ劇場で展開している文化・芸術事業のほか、武者小路実篤記念館・実篤公園、郷土博物館などの地域資源を活用し、調布の魅力を発信します。

◆特色ある観光事業の推進

調布市観光協会と連携し、深大寺をはじめ、「水木マンガの生まれた街 調布」や「近藤勇 生誕の地」などの地域資源を活用した観光事業を実施するほか、姉妹都市・木島平村との交流事業など、特色ある観光事業を推進します。また、東日本大震災に伴う被災地支援を通じた物販イベント等の交流事業を実施します。

◆地域資源を活用した効果的な情報発信

市及び調布市観光協会のホームページのほか、市内の様々な地域情報発信ツールを活用した効果的な情報発信を行います。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
観光案内所への来所者数	8万1,815人 (平成29(2017)年度)	10万人 (令和4(2022)年度)

基本計画事業

No.	57	事業名	調布市観光協会事業の促進	区分	拡充	担当課	産業振興課
事業の概要	市民がまちの魅力に愛着と誇りを持ち、来訪者が回遊し、また訪れたいと思われるような観光振興を目的に、調布市観光協会の活動を支援します。						
年度別計画	令和元(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度	令和4(2022)年度			
	○観光協会の運営支援 (観光協会事業の実施) ・東京2020大会等を契機とした 観光振興	○継続 ・継続	○継続	○継続			
事業費 (百万円)	21	21	21	21			

◆スポーツイベント等と連携したにぎわいの創出

ラグビーワールドカップ2019™日本大会及び東京2020大会の開催を契機として、スポーツイベント等の開催機会を捉えたにぎわい創出や観光振興に取り組むとともに、観光情報誌の発行等により、調布市の特色あるお土産や特産品など、国内外に調布市の魅力をPRします。また、FC東京をはじめ、調布市にゆかりのあるプロスポーツチーム等と連携した地域活性化事業を展開します。

◆インバウンド対策の推進

ラグビーワールドカップ2019™日本大会及び東京2020大会の開催を契機として、訪日外国人観光客の回遊性・利便性の向上を図るため、多言語による観光案内や情報サイトの充実、SNSを活用した魅力の発信など、様々な企業や調布市観光協会と連携したインバウンド対策に取り組みます。

◆シェアサイクルの促進

市民及び観光客の自転車利用による回遊性・利便性の向上に向け、運営事業者をはじめ、商店会や商工会と連携し、シェアサイクルの導入を促進します。

◆調布市観光協会の運営支援

地域資源を活用した観光事業の実施や観光資源に関する情報発信など、調布市観光協会の運営を支援し、特色ある観光事業を推進します。

◆多様な主体と連携した観光情報の発信

観光案内所の運営支援のほか、調布市観光協会のホームページ、フェイスブック、ツイッター、観光マップ、パンフレットなどにより調布市の特色ある観光情報の発信を行うとともに、アプリを活用した多言語による観光案内サイトの充実を図り、訪日外国人観光客に向けた情報発信に取り組みます。また、近隣市等と連携したまちの魅力発信にも取り組みます。

まちづくり指標

指標名	基準値	目標値
調布市観光協会発信のSNSのフォロワー数	6,005人 (平成30(2018)年度見込み)	1万人 (令和4(2022)年度)

基本計画事業

No.	57	区分	拡充	担当課	産業振興課
事業名	調布市観光協会事業の促進 [再掲]				
事業の概要	市民がまちの魅力に愛着と誇りを持ち、来訪者が回遊し、また訪れたいと思われるような観光振興を目的に、調布市観光協会の活動を支援します。				
年度別計画	令和元(2019)年度 ○観光協会の運営支援 (観光協会事業の実施) ・東京2020大会等を契機とした 観光振興	令和2(2020)年度 ○継続 ・継続	令和3(2021)年度 ○継続	令和4(2022)年度 ○継続	
事業費 (百万円)	21	21	21	21	



調布市観光マップの多言語化冊子

参加と協働の視点

～市民等に期待される役割～

- 市民は、まちの魅力に愛着と誇りを持てるよう、地域資源を大切にします。
- 事業者は、地域資源を大切にするとともに、来訪者に対しておもてなしの心を持ち、きめ細かなサービスの提供に努めます。

多様な主体との連携事例

○ 市内映画・映像関連企業や市民団体と連携した「映画のまち調布」の推進

シネマコンプレックスの開業を契機としたプレアド（映画上映前の広告）を活用した調布市のPRや、映画・映像関連企業も参加する実行委員会形式での「映画のまち調布シネマフェスティバル」の開催のほか、高校生フィルムコンテスト、カナダ・ケベック州関連映画上映会、市民団体と連携した親子映画上映会などを実施しています。

【所管課】産業振興課

【協働のパートナー】市内映画・映像関連企業、市民団体、
カナダ・ケベック州政府在日事務所
など



<高校生フィルムコンテストの様子>

○ 多様な主体と連携した観光事業の推進

調布市観光協会の主催事業である観光フェスティバルや調布七福神めぐり、深大寺季節の和めぐり、グルメイベント（デカ盛りウォークラリーなど）、その他共催事業等を実施しています。

【所管課】産業振興課

【協働のパートナー】調布市観光協会



<観光フェスティバルの様子>